



審判(副)委員長



戦評用紙

種別 **バレーボール (精神)** 会場 **小浜市民体育館**

平成 **30** 年 **10** 月 **13** 日 土曜日 第 **1** 日目

特設Aコート 第 **2** 試合

1回戦(第2試合) 準決勝(第1試合) 3位決定戦 決勝戦 交流戦(第1試合)

◎試合結果 (該当する種別にレ印)

勝利チーム	22	—	25	}	1	岡山県	都道府県、指定都市名
大阪府	26	—	24				
都道府県、指定都市名	25	—	21				

【審判員】

主審：熊谷 陽(福井県) 副審：榊田 昭二(福井県)

記録員：中島 広平(福井県) A・S：松宮 誠(福井県)

【戦評】

記載者：古田 哲也

第1セット序盤、両チームとも固いブロック力と、粘り強いレシーブを見せ、長いラリーが終盤まで
 続く。終盤、抜け出した岡山県は3番阿邊のサーブを起点とし、確実に点を重ねて逃げ切りを図る。大
 阪府もすぐに連続得点し、追いつけるが、最後は岡山県のスパイクが相手コートに落ち、岡山県が第1
 セットを先取る。続く第2セットも簡単にボールの落ちない見応えのあるラリーが展開された。その
 中で岡山県が2番北川のサーブ、6番山本のブロックなどでブレイクに成功し、徐々に流れをつかむ。
 そして終盤、先にマッチポイントを握ったのは岡山県だったが、そこから大阪府が3番大石のサーブと
 多彩なトワークで得点して大逆転に成功し、大阪府が第2セットを奪う。最終セット、岡山県は1番
 木下を中心とした攻撃を展開する。対する大阪府はセンターやレフトからのスパイクで得点を重ね、ブ
 ロッカーの的を絞らせない。終盤までどちらが勝つかわからない一進一退の攻防が続いたが、最後は全
 員でつなぎ切った大阪府が第3セットをものにし、フルセットの激闘を制した。